

## 第2期札幌市教育振興基本計画(案)

# キッズコメント意見集

～いただいたご意見と札幌市教育委員会の考え方～

(小学生・中学生の皆さんへ)



札幌市教育委員会では、これから札幌市の教育をどのように進めていくかを定めるために、「第2期札幌市教育振興基本計画」の案を作り、令和5年12月25日から令和6年1月25日までの期間、皆さんから意見を募集しました。

この資料は、皆さんからいただいた意見の主な内容と、その意見に対する札幌市教育委員会の考え方をまとめたものです。

皆さんからいただいたご意見は、どれも素晴らしく、参考になるものばかりでした。札幌市の教育が、皆さんにとってよりよいものになるように、これからも様々な取組を進めていきます。

合計 805 人から 1,027 件のご意見をいただきました！

### 学年別内訳

学年	小学生						中学生			不明	合計
	1	2	3	4	5	6	1	2	3		
人数 (人)	12	1	31	35	50	27	330	178	141	0	805
件数 (件)	15	1	41	42	50	28	469	196	185	0	1,027

※ フォーム登録1回につき一人と数えています。複数ご意見をいただいた場合はその分意見数を計上しています。

### ～保護者の皆様へ～

この資料は、「第2期札幌市教育振興基本計画」の案に対し、子どもたちから寄せられたご意見の概要と、それに対する札幌市教育委員会の考え方をまとめたものです。ぜひ、お子様とご一緒にお読みください。

なお、大人の方々からいただいたご意見と、それに対する札幌市教育委員会の考え方は、下記ホームページにてご覧いただけます。

◆ [https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/shinko\\_keikaku2/shinko\\_keikaku2.html](https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/shinko_keikaku2/shinko_keikaku2.html)

令和6年(2024年)3月  
札幌市教育委員会

市政等資料番号  
01-S01-23-2837

## 寄せられた主な意見と札幌市教育委員会の考え方

### 第3章 第2期札幌市教育ビジョン

#### 1 札幌市の教育が目指す人間像

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
「自立した札幌人」のテーマは抽象的なので、もっと小中学生が思い浮かべやすいものにしてほしい。	「自立した札幌人」に込めた思いは、本書で詳しく説明しています。また、札幌市の教育が目指す人間像「自立した札幌人」のほか、計画期間中、具体的にどのようなことに取り組むのかを、子どもたちにも分かりやすく解説した「分かりやすい版」を作成します。

### 第4章 第2期札幌市教育アクションプラン(前期)

#### 1 基本施策

##### 基本的方向性1

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>施策 1-1 主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進</b>	
授業では、練習プリントのみではなく、分かりやすい解説プリント等を作ってほしい。	札幌市では、「ドリルパーク」という学習アプリを導入しており、様々な問題に取り組んだり、詳しい解説を確認しながら学習を深めたりするなど、自ら家庭学習を進めることが可能となっていますので、学校の先生にも相談しながら活用を進めてみてはいかがでしょうか。
勉強が苦手な子どもも進んで学習に取り組むことができるやり方があるといい。	人はそれぞれに違いがあり、どんな人でも進んで取り組める方法があるわけではありません。自分には、どんな学習方法が合っているかについて、もう少し考えてみてください。困ったときには、周りの大人に相談すると、よいアドバイスをもらえると思います。
答えが分からない人に教える時間があるといい。 学習につまづいている人への声掛けや、生徒同士の教え合いを大切にしてほしい。 (類似意見3件)	学習の理解を広げたり、深めたりする上で、生徒同士の学び合い(協働探究)はとても大切です。札幌市では、これまでも分かる・できる・楽しい授業づくりの充実を図ってきましたが、今後も一人一人の学習状況に寄り添い、授業の中で学び合いの場を設定できるよう、各学校で取り組んでいきま

	す。
漢字の書き順を覚えることができる教材を作してほしい。	筆順に関心をもって漢字の学習を進めていくことは、文字を正しく整えて書く力を養うことにつながります。筆順の基本的な原則は、書写の学習の中で学びます。反復練習や丸暗記だけで筆順を覚えるよりも、基本的な原則を理解し活用していくことで、新しく学習する漢字の筆順を推測できるようになるなど、漢字の学習の幅を広げていくことが大切だと考えます。 なお、札幌市では、「ドリルパーク」という学習アプリを導入しており、なぞり書きの練習で筆順も学ぶことができるので、筆順の原則を活用しながら挑戦してみてください。
整理整頓を学ぶ授業をしてほしい。	整理整頓は、5年生の家庭科の授業で学習しますが、それ以外の教科や学校生活、日常生活を通して、学び、身に付けていくことです。学校だけではなく家庭や地域の様々な人に相談をしながら学んでほしいと思います。
習熟度別クラスの授業をしてほしい。 (同意見3件)	テストでよい点を取るということだけを目的とするのであれば、習熟度別の学級で学んだ方がよいという面もあるかもしれませんが、世の中には、テストのように、あらかじめ答えが決まっている問題だけではなく、答えが決まっていない問題がたくさんあります。また、多様な他者とともに、それぞれの良さを生かしながら、力を合わせて、よりよい社会をつくっていく必要があります。児童生徒の皆さんには、様々な学びを通して、未来の予測が困難な時代の中を生き抜く力を付けてほしいと考えています。
学校のイメージを、辛くてつまらないイメージから、楽しいイメージに変えてほしい。 今勉強することが大切であること、学習だけではなく、生活の中での学び(手伝いなど)も大切であることを伝えてほしい。 (同意見1件／類似意見2件)	学校は、「みんな違う」多様な人からなる小さな共同社会です。皆さんには、そのような学校において、教科等における学習だけでなく、あらゆる教育活動を通して、自分らしく生きていくことや、自分とは違う他者と共に生きていくことを学んでほしいと願っています。 札幌市では、自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する「課題探究的な学習」と、よりよい学校づくりについて、自分たちの問題を自分たちで解決に向けて責任をもって取り組む「さっぽろっ子自治

	<p>的な活動」を二本柱として推進しています。自分の「～したい」を実現していくことは本来楽しいはずです。みんなが「通いたい」と思える楽しい学校を一緒に創り上げていきましょう。</p>
<p>運動機会を増やすために、体育の授業を増やしてほしい。 (同意見2件)</p>	<p>各学校では、国が定める「学習指導要領」に基づいて、1年間の授業計画を立てています。他の教科との兼ね合いもあり、特定の授業だけを増やすことは難しいですが、運動の機会を充実させるための工夫については、生徒会活動などの自治的な活動と関連付けるなどして、先生に相談をしてみてください。</p>
<p>算数の少人数授業を継続してほしい。</p>	<p>札幌市では、これまで、高学年の算数の授業を少人数で行う「にーごー」の取組を進めてきました。今後は、小学校の全学年で少人数学級が実現することから、これまで「にーごー」で大切にしてきた、みんなで思考力を高める授業を、学級単位で進める「beyond」という取組に発展させていきます。</p>
<p>英語で会話する機会を増やしてほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>文部科学省が基準として示している学習指導要領における外国語科の目標の中にも、「考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにすること」と明記されています。即興でやり取りできる力はとても大切で、これからもその力が身に付くような授業の充実や授業外での機会創出に向けて、札幌市内の英語科の先生と一緒に考えていきます。皆さんも、日常生活で機会を見つけて、積極的に英語で会話してほしいと思います。</p>
<p>英語だけでなく、韓国語や中国語など他の言語を学べる機会を作してほしい。 (同意見2件)</p>	<p>多くの国で英語が使われており、全国的に見ても、英語以外の外国語の科目を開設している公立中学校は数校しかありません。英語以外の言語にも興味があることは、素晴らしいことですので、積極的に勉強したり交流の機会に参加する等してほしいと思います。なお、高等学校では、英語以外の外国語の科目を開設している学校がありますので、進路先を検討する際の参考にしてください。</p>
<p>ALT の先生と勉強できる機会を増やしてほしい。 (同意見6件)</p>	<p>外国の文化に触れながら、英語で伝え合う力を高められるように、ALT の授業の充実を図っていきます。</p>
<p>発音に慣れたり、声を出すことのため</p>	<p>早い段階から英語に慣れ親しむために、3、4年生</p>

めらいをなくすため、ALT の授業を小学1年生から行ってほしい。 (類似意見1件)	の外国語活動では、全ての授業で ALT と一緒に活動することができるようになります。
ALT の人数を増やしてほしい。 (同意見2件)	今後、ALT の人数を増やしていく予定です。これにより、小学3～6年生の授業でより多くの時間、一緒に学べるようになります。
外国語担当の先生と ALT との間で上手く連携が取れるともっと有意義な授業になると思う。	子どもが英語で自分の考えや思いを伝え合う「言語活動」を通じた授業づくりにおいて、ALT の効果的な活用を図ることができるよう、英語教員や ALT を対象とした研修を実施していきます。
ある程度日本語を理解でき、話せる ALT を育成してほしい。 (同意見6件／類似意見7件)	ALT は、研修を通して、授業力や子どもとの関わり方などを学んでいます。言葉の壁を乗り越えて、授業以外の給食や休み時間等にも、ALT に話しかけてみてください。
特別支援学級にも ALT の先生が来てほしい。	特別支援学級においても、ALT と一緒に学ぶことができますので、先生に思いを伝えてみましょう。
将来、必須となる職業を体験できる取組があるといい。 (類似意見1件)	札幌市では、夏期・冬期休業中に職業体験ができる「進路探究学習オリエンテーリング」事業を実施していますので、皆さんの興味・関心に応じて応募してみてください。また、「将来必須になる職業」がどのようなものを指すのかについて、ぜひ教えてほしいと考えています。札幌市では、今後も、皆さんの期待に沿うことができるような職業体験プログラムの企画について検討を重ねていきます。
<b>施策1-2 豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進</b>	
一人一人がお互いを認め合い、家庭や見た目などで差別しない教育が大切だと思う。 (類似意見1件)	札幌市では、あらゆる教育活動において、互いにかげがえのない人間としての尊厳や個性、多様性を認め合い、あらゆる偏見や差別をなくし、支え励まし合う温かい人間関係をつくっていくことが大切だと考えており、一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり目指しています。このことを踏まえ、全ての子どもたちの声を集約してつくられたのが、さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」です。今後もこの宣言に基づく取組を通して、自他を大切にすることを育んでいきましょう。
発言しやすい環境を作ってほしい。	札幌市では、全ての教育活動において基本的人権を尊重するとともに、互いにかげがえのない人間としての尊厳や個性、多様性を認め合い、あらゆる

	<p>る偏見や差別をなくし、支え励まし合う温かい人間関係ができるような学校を、皆さんと一緒につくっていきたいと考えています。</p>
<p>学級や学年での交流の時間を増やしてほしい。 (同意見3件／類似意見4件)</p>	<p>学習や生活場面において、仲間と交流することから得られる学びは大切であると考えています。今後も、各学校において交流の時間を生み出せるように工夫していきますので、ぜひ学校の先生にもこのような願いや思いを伝え、一緒に考えながら実現してほしいと思います。</p>
<p>他クラスの人と交流する授業をしてほしい。 (同意見7件／類似意見1件)</p>	<p>多様な人と関わり合うことで、学びは深まり成長につながります。それは授業だけでなく、あらゆる教育活動について言えることです。1人1台端末の導入は、その可能性を大いに広げました。学級や学年、校種の枠組みを越えて学ぶ機会については、各学校がそれぞれの教育活動のねらいのもと、様々なことを総合的に考えて設定していますが、その「様々なこと」には、皆さんの思いや願いも含まれます。学校の先生にも、今回の意見を提案として伝えてほしいと思います。</p>
<p>他校との交流が増えるといい。 (同意見1件／類似意見2件)</p>	<p>近隣の学校と取組を交流したり、同じ目的をもち協力して取り組んだり活動の幅を広げ、様々な人と交流をしていくことは大切なことだと考えます。札幌市では、「さっぽろっ子自治的な活動」を充実させるために、令和6年度、札幌市の子どもたちがよりよい学校づくりに向けて意見を交流する「さっぽろっ子サミット」を開催します。ぜひ、積極的な参加をお願いします。また、自分の学校でも、様々な人と交流するために、どのようなことができそうかを考えて行動してもらいたいと思います。</p>
<p>自立や高齢者をサポートするため、雪かきを手伝う活動や農業を手伝う総合の学習を行うといい。</p>	<p>総合的な学習の時間では、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習が行われるため、職業や自己の将来に関することや地域の人々との関わり合いや体験的な活動等、様々な学びが考えられます。それぞれの学校でねらいや内容は異なるとしても、「自立をするためや高齢者などをサポートするためにはどうしたらよいか」という視点を持ち、それらに関連付けて考えていくことは、学びの幅を広げるはずで、「さっぽろっ子自治的な活動」に</p>

	つなげていくこともできるかもしれません。
道徳の授業は、色々な人の考えを聞くためにも、クラスを混ぜて行ったほうがいい。 (類似意見1件)	道徳の授業では、皆さんが、ものの見方や考え方を様々な人と交流することを通じて、他者とよりよく生きていくための力を身に付けることを目標としています。 先生方は、皆さんが、自分自身の生活や生き方について考えを深めることができるよう、研究を進めています。これからも積極的に授業に参加し、友達と意見を交わしながら豊かな心を育ててほしいと思います。
性教育を充実させてほしい。	各学校では、国が定める「学習指導要領」に基づいて、各教科ごとに学習計画を立てています。中学校では、保健体育や家庭科の授業を中心に、計画的に性教育を進めています。様々なことに配慮しながら、慎重に性教育を進める必要がありますので、今後も、皆さんの健康・安全を守るための指導の在り方について、札幌市としても検討を重ねていきます。
読書する機会が少ない人が多いと思うので、読書が好きな人も含めて、朝読書だけでなく、授業の中でも本に触れる機会を取り入れて、読書の時間を増やしてほしい。 (同意見8件／類似意見8件)	学校の一日の日課は、年間で決められている授業時数や、放課後の活動時間、下校時間等についても配慮しながら決めています。思いを学校に伝えたり、学級や生徒会、部活等で読書の時間や企画ができないか、先生や友達と相談してみたりしてはいかがでしょうか。また、学校図書館でも、できるだけ多くの方が本を手取るよう、先生や図書委員や学校司書が工夫をしています。ぜひ、友達を誘って、学校図書館に行ってみてください。
読みやすい本を増やしてほしい。	学校図書館の蔵書は、各学校でそれぞれ整備を行っており、興味をもってもらえるような本や必要な本等を毎年検討して購入しています。読みやすい本やおすすめの本があれば、学校で図書委員会や先生に提案してみてもはいかがでしょうか。
朝読書の代わりに自習したい。 (同意見2件／類似意見1件) 朝読書の時間に漫画を読みたい。	札幌市では、読書によって言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにしたり、知的好奇心をふくらませたりすることを大切にしてほしいという願いから、「読書」を共通のテーマとして全ての園や学校で推進しています。 気になるテーマについて本で調べたり、自分とは違う筆者の考えに触れたりするなど、主体的な読

	<p>書体験によって、見方や考え方を広げることも大事な学びの一つです。</p> <p>また、漫画を読むことでも、自分の生き方について考えたり、新たな発見がありますが、活字を読むことによさがあります。</p> <p>朝読書の活動の目的と、様々な本に触れるよさを踏まえて、学校の先生と一緒に考えてみてはいかがでしょうか。</p>
長期休暇中、図書館を開放してほしい。	<p>長期休業中の開室を希望する理由によって、回答は異なると思いますが、読書という目的であれば、多くの学校図書館では、長期休業中にも読書に親しめるように、休業前に長期貸出しをしていますので、ぜひ利用してみてもいいのではないでしょうか。</p> <p>また、札幌には、図書のある施設や、電子図書館等もありますので、いつもと違う図書資料に出会い、視野を広げる機会として、活用することをお勧めします。</p> <p>なお、開放図書館を実施している学校では、長期休業中に特別開館日を設けているところがあり、当該校の児童生徒ではない方でも利用することができます。</p>
野外活動を積極的に増やしてほしい。	<p>札幌市の野外教育施設(青少年山の家、定山溪自然の村)では、星空観察やスノーシューハイキングなど、それぞれのフィールドを活かした体験活動を行っていますが、今後は地域単位でもこうした活動機会の充実に向けて検討していきます。</p>
校外学習を増やしてほしい。 (同意見1件／類似意見2件)	<p>校外学習における、多様な他者や校外の豊かな自然、文化に触れる体験等を通して、学びが深まっています。各学校で、年間計画は校内外の学習のバランスを踏まえ、ねらいと目的をもって作成していますので、校外でどのような活動を通して、どのような力を身に付けたいのかを明確にし、学校に意見を伝えてみてはいかがでしょうか。</p>
<b>施策 1-3 多様な教育的ニーズに応じた教育の充実</b>	
日本語が分からない人も学校に来ることができるようにしたい。	<p>札幌市では、日本語が分からない児童生徒を対象に、日本語指導をする仕組みや相談窓口があります。周りに困っている友達がいるのであれば、学校を通じて、相談するように伝えてあげてください。</p>

施策 1-4 誰もが安心して学びに向かうことができる支援の充実

<p>悩みを気軽に相談できる場所がほしい。</p>	<p>困ったことや悩んでいることがあるときには、身近な人に相談することが大切です。一人で抱え込まずに、スクールカウンセラーも含め、校内で話しやすい先生に、声をかけてほしいと思います。皆さんからの意見を受け止め、これからも、相談しやすい仕組みづくりを進めていきます。</p>
<p>いじめのない生活にしてほしい。</p>	<p>いじめは、相手の存在や価値、生き方を踏みにじる「人権侵害行為」です。そのため、国では「いじめ防止対策推進法」の第4条で「子どもは、いじめを行ってはならない」と定めています。いじめを行うことは法律違反に当たるということを、皆さんに深く理解してほしいと思います。一人一人が安心して楽しい学校生活を送るためには、いじめを防ぐ必要がありますが、そのために、自分たちに何ができるかを考え、行動を起こしてほしいと思います。皆さんが、思いやりの気持ちを持ち、互いに認め、支え合う温かい人間関係の中で健やかに成長していくことを願っています。</p>
<p>いじめによる子どもの自殺をなくすため、いじめ対策の取組に力を入れてほしい。</p>	<p>このような悲しいことが起こらないように、学校と教育委員会でこれまで以上に取組を強化していきます。皆さんは、一人一人かけがえのない大切な存在です。自分自身や周りの人が悩みを抱えているときには、家族や友人、スクールカウンセラーなどに相談してください。他にも信頼できる相談窓口があり、皆さんをサポートしてくれます。</p>
<p>いじめは札幌市だけではなく、他の市でも起こっていることなので、いじめ対策について、札幌市から各市にもっと発信できれば良いと思う。</p>	<p>いじめはいつでもどこでも起こりうることです。大事なことは、いじめの未然防止、早期発見・対処ですが、札幌市では、「札幌市いじめ防止等のための基本的な方針」を市のホームページに掲載し、札幌市以外からも見るように発信しています。</p>
<p>先生に、生徒の相談を聞く時間を作ってほしい。 (同意見2件)</p>	<p>学校では、悩みごとに関するアンケートを行ったり、先生方と個別にお話をする時間を作ったりして、皆さんが相談しやすい環境づくりに努めています。また、学校以外の様々な相談窓口を皆さんに紹介しています。今後は、皆さんが日頃使っている1人1台端末に、皆さんの困りや悩みをキャッチ</p>

	するためのアプリを導入するなど、皆さんの意見を聞きながら、より相談しやすい環境づくりを進めていきます。
スクールカウンセラーは、男女問わず相談しやすい存在でいてほしい。 (同意見2件／類似意見10件)	皆さんの意見から、心の専門家であるスクールカウンセラーへの期待の大きさを感じました。スクールカウンセラーは、相談室で個人的に相談を受けるだけでなく、皆さんの心の健康を保つために、色々なところで児童生徒に積極的に関わっていくことが大切だと考えています。これからもスクールカウンセラーの専門性を生かして皆さんを支える取組の充実を進めていきます。
スクールカウンセラーが、もっと子ども達と触れ合ったらいいと思う。	「心の専門家」であるスクールカウンセラーが子どもたちと触れ合うことは大切なことです。スクールカウンセラーは、多くの時間、子どもや保護者との相談を行っています。そのほか、先生たちと一緒に授業を行うこともあります。話をしてみたいときには、担任の先生や話しやすい先生にそのことを伝えてください。
心の専門家に相談したいのに、誰に言えばいいのかわからない。 (類似意見1件)	皆さんの学校には「心の専門家」であるスクールカウンセラーが必ずいて、子どもや保護者の相談に応じています。スクールカウンセラーは、常に学校にいるわけではないので、相談したいときは、担任の先生や話しやすい先生に相談したいことを伝えてください。

## 基本的方向性 2

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>施策 2-1 ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進</b>	
学校で「月1回」「1つの学期中に1回」など、定期的に自然と触れ合える機会を作ってほしい。	自然と親しむことや自然との共生について考えることはとても大切なことであり、札幌市としても、体験的な活動は大変重要と考えています。 どのような活動をどれくらいするのかは、それぞれの学校が地域の特色なども生かしながら考えていくことですが、ぜひ、このような意見を学校にも届けて、より充実した機会をつくってほしいと思います。
グラウンドを使った雪遊び(雪合戦)	「雪」は札幌の大切な特色の一つであり、「札幌ら

<p>など)を増やしてほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>しさ」を学ぶための貴重な資源と考えています。また、グラウンドでの雪遊びを増やすことは、運動をする機会を充実することにもつながる素晴らしい考えですので、外に出ることが苦手な友達も巻き込みながら、学校に提案してみてもいいでしょうか。</p>
<p>全市的に、スキー学習はスキー場で行うことにしてほしい。 (同意見4件／類似意見6件)</p>	<p>札幌市は大都市でありながら、自然に恵まれていて、近隣にはスキー場も多くあります。そのような札幌の素晴らしい自然環境等を生かしながら体験的な学習を実施することは貴重な経験になります。それぞれの学校が地域の特色を生かしながら、様々なウィンタースポーツや雪を使った活動に取り組んでいますが、学校にも意見として提案してみてもいいでしょうか。</p>
<p>スキー学習で行くスキー場を変えてほしい。</p>	<p>それぞれの学校が地域の特色を生かしながら、様々なウィンタースポーツや雪を使った活動に取り組んでおり、スキー場の選択についても、学びの目的に沿って、コースの種類や難易度を検討しています。また、移動時間や費用など様々な条件もあると思いますので、具体的な理由も含めて、学校に相談してみてもいいでしょうか。</p>
<p>中学校で、水泳やスキーの授業を行ってほしい。 (類似意見25件)</p>	<p>札幌市としても、体験的な活動は大変重要と考えており、これからも札幌市全体で推進していきます。各学校では、学校や地域の実態に応じて、教科ごとに学習計画を立てています。必ずしも好きな種目に取り組むことはできないかもしれませんが、皆さんが力を伸ばしていけるような様々な取組を続けていきます。</p>
<p>子どもだけではなく大人も楽しめる雪遊びを考えてほしい。</p>	<p>家庭や地域とにもある学校づくりをよりよくするために、子どもの声は欠かせません。とても素晴らしい視点だと思いますので、地域の方々と一緒に雪遊びができる機会について、学校の友達と協力しながら、学校や地域の方々にも提案してほしいと思います。</p>
<p>読書や雪遊びが嫌いの人のために、別の取組もしてほしい。 (類似意見2件)</p>	<p>札幌市では、札幌の貴重な資源である雪に親しみ、雪と共生しようとする心や、読書によって言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにしたり、知的好奇心をふくらませたりすることを大切にしてほしいという願いから「雪」や「読書」</p>

	<p>を共通のテーマとして、全ての園や学校で推進しています。「雪」や「読書」のよさを、より多くの人に実感してもらうためにはどうしたらよいでしょうか。委員会活動等を通して仲間と一緒に考えてみてほしいと思います。皆さんの自治的な活動に期待しています。</p>
<p>地球温暖化に配慮した取組を行ってほしい。</p>	<p>SDGs の理念でもある持続可能な社会を築く上で、大切な考えです。札幌市では、「環境都市・札幌」宣言に基づき、様々な取組を行っていますが、皆さんが学校でできることはどのようなことなのか、考えていくことも重要です。節電やごみの削減、フードロスなどについて、自治的な活動と関連付けながら、学校全体で取り組んでみてはいかがでしょうか。</p>
<p>札幌を「読書」のまちにするために、市内の学校対抗で読書量を競うなど、読書をしたいとみんなが思う活動をするという。</p>	<p>学校図書館ボランティアや読み聞かせ活動等、学校だけではなく、保護者や地域の方等に協力をいただきながら、子どもの読書活動は支えられています。また、「札幌＝読書の街」にする提案、素晴らしいと思います。まずは、パートナー校や近隣の学校等、身近なところで、様々な企画を出し合い、検討して取り組むことができるかもしれませんので、ぜひ、先生や生徒会等に相談してみてください。自治的な活動につながるものとして大いに期待しています。</p>
<p>教室にも本を置いてほしい。</p>	<p>例えば、学校図書館にある本を教室に置いたり、学校 PTA と連携しながら整備を充実している学校もあります。どのような本を充実していきたいのかも含めて、ぜひ、学校に意見として届けて、一緒に考えてみてはいかがでしょうか。</p>
<p>読むだけでなく、自分で文章を書く時間を設けることで、表現力が向上すると思う。</p>	<p>とても重要な考えだと思います。札幌市でも、読書によって言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしたり、知的好奇心をふくらませたりすることを大切にしてほしいと考えています。読書によって得た知識を生かして発信したり、感じたことを書きとめて友達と交流したりするなど、読書に関わる様々な活動が考えられます。今後も、各学校において表現力や想像力が高まる活動を工夫していきますので、ぜひ学校の先生にもこのような思いや願いを伝えてほしいと思いま</p>

	す。
日本の文化や行事を通し、日本のよさを学びたい。	自国の伝統と文化を大切にすることを養うことはとても大切なことです。札幌市でも、国際交流の機会の提供を行っていますので、機会があればぜひ参加してほしいと思います。
<b>施策 2-2 家庭・地域の教育力向上を支援する取組の推進</b>	
給食を美味しくしてほしい。	給食のだしやスープは昆布、カツオ、鶏ガラ、豚骨を使用するなど、食品添加物を使わないようにしています。また地産地消を心がけ地元の新鮮な食材を使用しています。食材の力を活かせるよう美味しい給食づくりに努めていきます。
給食メニューのバリエーションを増やしてほしい。	給食を通して栄養バランスだけでなく、行事や食文化、地産地消等について学ぶことから、新しい料理も考案しながら、今後も食育に努めていきます。
給食を選択式・バイキング形式にしてほしい。 (同意見3件)	学校給食は、成長期の児童生徒に必要な栄養素がとれるよう様々な食材を使用して献立を立てており、日常的な選択式やバイキング形式での提供は想定していません。皆さんの食経験が豊かになるよう、引き続き、様々な食材を経験できる場として学校給食を提供していきます。
給食ではなく、お弁当の日を増やしてほしい。	学校給食は、成長期の皆さんに必要な栄養素がとれるよう献立を立てています。また、給食をとおして栄養バランスや地産地消、食文化等を学ぶ機会としているため、食を学ぶ大切な機会ととらえています。今後も給食への理解が深まるよう食育を進めていきます。
牛乳が飲めない子どものために、お茶など、牛乳以外の飲み物を用意してほしい。 (同意見1件)	食物アレルギーや病気等で牛乳が飲めない場合は家庭から代替りのものの持参をお願いしていますので、ご理解ください。
<b>施策 2-3 多様な地域資源を活用した豊かな学びや子どもの成長を支える取組の推進</b>	
学校での勉強だけではなく、地域の方たちとのコミュニケーションや人間関係の築き方を勉強したりする時間があるといい。 地域連携が足りない気がするので	学校と地域の方々が協力することにより、教育活動の幅が広がり、体験活動の充実等につながると考えています。また、生徒の皆さんが積極的に地域のボランティア活動に参加することで、学校と地域とのつながりが深まる面もあります。現在、学

<p>地域の人との交流を増やしたい。 (同意見3件／類似意見7件)</p>	<p>校と地域が力を合わせて、多様な学びを実現する仕組みをつくろうと考えています。その仕組みをうまく活用すれば、実現できる方法があるかもしれませんが、いただいた意見を参考にしたいと思います。また、皆さんからもその思いを学校に届けてみてください。</p>
<p>部活動がより効果的な活動となるよう、学校の先生と地域の方々が協力して様々な視点から指導してほしい。 (同意見1件)</p>	<p>外部指導者を配置している部活動では、部活動の顧問の先生と外部指導者が連携、協力しながら活動することとしています。</p>
<p>学校の先生の負担軽減のため、部活動の顧問は地域の方に協力していただくといい。 (同意見1件)</p>	<p>指導内容の充実や先生方の負担の軽減に向けて、専門的な指導ができる地域の方々に部活動を担ってもらう外部人材活用の取組を進めていきます。</p>
<p>部活動は、専門的な人に指導してもらっただけでなく、大学生と交流を深める取組になるといい。</p>	<p>部活動に外部人材を活用する取組の一環として、大学生の活用に向けて地域の大学と連携を進めていく予定です。</p>
<p>部活動の外部人材の活用には良い点もあるが、部活動が先生と生徒の関係性を深める面もあることに留意してほしい。</p>	<p>部活動には、生徒同士や、生徒と先生との好ましい人間関係の構築のほか、学ぶ意欲の向上や自己肯定感、責任感、連帯感を育てることに役立つなど、様々な役割があります。これまで部活動が果たしてきたこれらの大事な役割が損なわれないよう配慮しながら、外部人材の活用を進めていきます。</p>
<p>部活動は、クラブチームとは異なり、専門的な指導により専門性を高めるのではなく、活動を楽しみたい、体力をつけたいなど、幅広い活動ができる場にしてほしい。 (同意見2件)</p>	<p>部活動の意義は、スポーツや文化・芸術活動に親しみながら、様々な学年の生徒との交流の中で、生徒同士や教員と生徒との間で良好な人間関係の構築を図ることにあります。 専門的な指導により技能等の向上や大会等での好成績を目指すことも大事な目的の1つですが、そのほかにも、気軽に友達とレクリエーション的な活動を楽しめる、適度な頻度で行える、様々な競技・種目を体験できるなど、生徒の多様なニーズに応じた活動ができる場の整備に向けた取組を進めていきます。</p>
<p>全学校に広げることができないなら、学校間で差が出てしまうため部活動の外部人材の活用はやめてほ</p>	<p>学校や生徒のニーズに応じてより多くの学校に部活動指導員等の専門的な指導者を配置できるよう、外部人材の更なる活用に向けた取組を進めて</p>

しい。	いきます。
<b>施策 2-4 生涯にわたり学び、学んだ成果を生かすことができる機会の充実</b>	
学校や地域の施設などにおける、講演会や勉強会を増やしてほしい。	札幌市生涯学習センターが開設している札幌市民カレッジでは、生涯学習センターのほか、区民センターや地区センター、図書館においても様々な講座を実施しています。今後も、身近な地域における学びの機会の拡充に取り組んでいきます。

### 基本的方向性 3

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
<b>施策 3-1 安全・安心な教育環境の整備</b>	
避難訓練を増やしてほしい。	学校では、児童生徒の皆さんに「自ら状況に合った判断をして、身の安全を確保するために進んで行動することができる力」を育むことを目標として、避難訓練の内容や回数、行う時期を決めています。いつ起こるか分からない災害に備えるためには、自分が暮らしている地域で、どのような危険が起こり得るのかを想像しながら、日頃から安全な行動の仕方を身に付けておくことが大切です。学校の避難訓練も様々な災害の発生を想定して、いざという時に必要となる判断力や行動力をしっかりと身に付けることができるよう、実施方法を工夫していきます。
エレベーターを設置してほしい。 (同意見9件)	全ての子どもが安心して学ぶことができる環境の整備は重要だと考えており、エレベーターについては、学校の建替えやリニューアル改修時のほか、個別の必要性に応じて整備を進めていきます。
各学校の子どもの人数を同じにしたほうがいい。	よりよい教育環境という点において、各学校の児童生徒数は重要であり、適切な学級数になるように学校の規模を調整する取組を進めています。なお、通学区域の変更は、通学距離や地域のつながり、大きな道路の位置、自然環境など様々なことを考えて慎重に判断する必要があり、今後も様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。

<p>老朽化している教室を整備してほしい。 (同意見2件) 体育館の床が滑りやすいので対策してほしい。 (類似意見3件)</p>	<p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、学校の建替えのほか、老朽化の状況に応じて、必要な整備を進めていきます。 学級数の増加などの理由で教室が足りない場合には、内部の改修や校舎の増築等の整備を検討していきます。</p>
<p>トイレの環境を改善してほしい。 洋式トイレにしてほしい。 トイレの便座を温かくしてほしい。 (同意見2件)</p>	<p>トイレの洋式化については、各学校の児童生徒数に対して必要な便器数を整備していますが、状況に応じて個別に対応を検討していきます。 なお、今後整備するバリアフリートイレについては、温かい便座を標準整備していきます。</p>
<p>エアコンを全教室に設置してほしい。 (同意見 20 件) エアコンを早く設置してほしい。 (同意見38件)</p>	<p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保は重要だと考えており、令和9年度までに市立幼稚園・学校の普通教室等に壁掛けエアコンを整備していきます。 なお、普通教室等への壁掛けエアコン整備は、電気設備の改修など大掛かりな工事が必要であり、全校整備には相当の時間がかかることから、緊急的な対応として令和6年夏に間に合うよう保健室にエアコンを整備するほか、普通教室や特別支援学習室に移動式エアコンを導入します。</p>
<p>教室のエアコンがエアコンの役割を果たしていない。 (同意見8件)</p>	<p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保は重要だと考えており、令和9年度までに市立幼稚園・学校の普通教室等に面積に応じた冷房能力を有するエアコンを整備していきます。</p>
<p>教室だけではなく、廊下なども涼しくなるようにしてほしい。 (同意見1件) 体育館にエアコンを設置してほしい。 (同意見1件)</p>	<p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保するため、令和9年度までに市立幼稚園・学校にエアコンを整備していきますが、可能な限り速やかに整備を完了するため、常時使用する普通教室等から優先的に進めていきます。 体育館をはじめとした、このほかの整備については、今後検討していきます。</p>
<p>エアコンよりも空気清浄機を整備したり、エアコンだけでなく加湿器もよいものを導入してほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>

<p>エアコンは地球温暖化につながるため必要ないと思う。 (同意見1件)</p>	<p>夏季期間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境を確保することを目的に令和9年度までに市立幼稚園・学校の普通教室等にエアコンを整備していきます。 また、環境への配慮は重要だと考えており、省エネ対策として照明器具の LED 化を進めるなど脱炭素社会の実現に向けた取組を進めていきます。</p>
<p>校内がきちんと暖まる暖房を設置してほしい。 (同意見1件)</p>	<p>学校の暖房については、教室の室温を 22℃程度に設定できる設備を整備していますが、よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>
<p>エアコン設置に時間がかかるなら、体育の授業をそれまでの期間はなしにするなど、それまでの対応策をきちんとしてほしい。 (同意見1件)</p>	<p>各学校では、皆さんの健康・安全と、学びの充実を図ることを考えながら、学習計画を立て、授業を実施しています。各教科で1年間に行う授業時数が決まっているため、体育の授業も計画的に進めていく必要があります。今後も、札幌市では、皆さんの健康と安全を第一に考え、安心して学習に取り組むための工夫について検討を続けていきます。</p>
<p>施策 3-2 教育 DX の推進に向けた教育環境の整備</p>	
<p>Chromebook を使った授業を増やしてほしい。また、タイピング練習などができる環境があるといい。 (同意見 19件／類似意見7件)</p>	<p>1人1台端末を学習道具の一つとして効果的に活用し、学習のねらいが達成できるような授業とすることが大切です。そのためにはどうしたらよいか、先生と一緒に考えてほしいと思います。 また、インターネット上にはタイピング練習用の web サイトがたくさんあり、Chromebook から使用できるものも多くありますので、自分に合ったものを選択して活用してみてください。</p>
<p>今よりも、授業でインターネットなどを使う機器を活用したらいい。</p>	<p>札幌市の小中学校では、令和3年度に1人1台端末が導入され、これを活用して様々な学習が可能となっています。紙を用いた学習と端末を用いた学習のそれぞれによさがあり、それらを適切に組み合わせながら学習を進めてほしいと思います。</p>
<p>もう少し学校生活が快適になるように、Chromebook でできることを増やしたほうがいい。 (類似意見1件)</p>	<p>1人1台端末は学習道具であると同時に、学校生活や日常生活を豊かにする道具でもあります。既に、様々なアプリが導入されていますので、生活が快適になるようなアプリの利活用について、周り</p>

	の人と一緒に考えてみてはいかがでしょうか。
コンピュータに親しみを持つために、ICT の活用にマイクラフトを入れてほしい。	マイクラフト教育版では、ゲーム感覚で、ものづくりを画面上で行うことができます。導入を検討する際には、授業のねらいに沿って効果的であるかについて考えることとなります。 Chromebook には学習を進めていくための様々なアプリが入っており、プログラミングを行うこともできます。札幌市では、ICT 活用の効果を高めるためにも、端末に親しみをもち、鉛筆やノートのように日常的に活用していくことが大切と考えています。
AI を取り入れた授業を増やしてほしい。	AI を活用することは、学びの充実のための有効な手だての一つと考えられますが、その学びだけで十分だとは考えていません。学校では、他者との関わりの中で学んだり、実体験を通して学んだりすることも大切だと考えていますので、今後も様々な学びの機会を充実させていきます。
全ての教科をデジタル教科書にしてほしい。 (同意見 10 件／類似意見1件)	現在、デジタル教科書を試験的に導入しながら、その効果や活用方法について検証を進めているところです。紙の教科書とデジタル教科書のそれぞれによさがあるため、すぐに紙の教科書がなくなるということにはならない見通しですが、うまく活用することで、持ち運びの負担軽減も可能になると考えています。
ICTを活用した授業を取り入れることも大事だが、自分で鉛筆で書くことも大事にしたほうがいい。	紙を用いた学習と端末を用いた学習のどちらもそれぞれによさがあり、それらを適切に組み合わせることで学習効果を高めていくことができます。まずはそれぞれのよさについて考え、それぞれの学習内容に合わせた効果的な方法を見付けてほしいと思います。
電子機器等を使った勉強を減らして、紙を使った勉強に変えたほうがいい。 理由としては以下の4点。 ①パソコンや電子機器で勉強をすると頭に入らない。 ②デジタル機器により子どもの視力が低下していると聞く。 ③授業中に生徒がタブレットの操作	紙を用いた学習と端末を用いた学習のそれぞれによさがあり、それらを適切に組み合わせることで学習効果を高めていくことができます。まずはそれぞれのよさについて考え、学習内容に合わせた効果的な方法を見付けてほしいと思います。 一方で、デジタル機器の長時間の継続使用を控える等の健康面への配慮や、使用しない時には端末の電源を切っておく等の環境への配慮も必要ということについては、そのとおりだと思います。

<p>に手間取り、授業が止まったり、タブレットを起動をさせるのに時間がかかったりして授業時間が削られている。</p> <p>④電気を使うことで地球温暖化を加速させることにつながる。</p> <p>(同意見1件／類似意見2件)</p>	<p>情報化社会において、端末を有効に活用できる能力を高めていくことは、多様な学びを可能としたり、生活を豊かにしたりします。端末を積極的に活用していくことで、その操作等もスムーズになっていくと思います。</p>
<p>リモート授業を定期的(週1回程度)行ってほしい。</p> <p>(同意見2件／類似意見9件)</p>	<p>ICT を活用して、学校と家庭をつなぐことは、時間的・空間的な制約を超えることができ、学校に通うことができない場合の学びを支えるための有効な手だての一つだと考えられます。</p> <p>一方で、学校に通うことは、他者との関わりの中で学んだり、実体験を通して学んだりするよさがありますので、学校での学びの全てが ICT 活用で実現できるわけではありません。</p> <p>今後も ICT を有効に活用しながら、学校ならではの学びを充実していきたいと考えています。</p>
<p>分からないところを発言しやすいように、端末を用いた授業にしてほしい。</p> <p>(類似意見1件)</p>	<p>端末を用いることで、自分の考えを発信したり、他の人の考えを共有したりしやすくなるなどのよい点もありますが、その一方で、自分の思いや考えが正確に伝わるようにすることの難しさもあります。今後は、端末を用いる場面と用いない場面を適切に判断しながら、学習効果を高めていくことが大切と考えています。</p>
<p>学校の授業で、スクラッチを投稿できるようにしてほしい。</p>	<p>自分が作成したプログラムやその実行結果について、他の人から感想や意見をもらうことは大切なことです。しかし、web 上に投稿する場合は、見知らぬ人とつながることで、トラブルに巻き込まれる心配も生じます。まずは、先生や友達に感想をもらってみたいはいかがでしょうか。</p>
<p>もっと性能の良い新しいパソコンがほしい。</p> <p>Chromebook は重いので、軽量の iPad などに変えてほしい。</p> <p>(同意見5件／類似意見2件)</p>	<p>1人1台端末は5年程度使用することを想定しています。端末の更新の際には、国が定める基準を参考に新しい端末を整備します。</p> <p>端末がより軽い方が使いやすいという意見も、次回機器選定の参考にします。</p>

<p>学校のパソコンで YouTube を使えるようにしてほしい。</p>	<p>児童生徒用の1人1台端末では、セキュリティの観点から YouTube が閲覧できないようになっていますが、NHK for school の学習動画・番組(約 10,000 本)を閲覧し学習することが可能となっています。</p>
---------------------------------------	--

**施策 3-3 子ども一人一人の学びを支える教職員の資質向上と指導体制の構築**

<p>先生方の指導力を向上してほしい。 (同意見1件)</p>	<p>札幌市では、課題探究的な学習を取り入れた授業づくりを進めており、子ども自身が疑問や課題をもち、粘り強く学習に取り組む姿勢を大切にしております。          今後は、先生方の研修等を通じて、子どもたちの「学びたい」や「解決したい」の声を適切に受け止められるよう、先生方の指導力の向上に努めます。</p>
<p>言葉の暴力をする先生の指導をしてほしい。</p>	<p>先生の発言が行き過ぎていると感じたり、発言によって傷ついたりするようなことがあれば、改善されるように、一人で抱え込まずに、すぐに周囲の先生や家族などの大人に相談してみてください。どんな悩みでも周囲に相談することで、解決に向けた道が開かれると思います。</p>
<p>学級の子どもの人数をもう少し減らしても良いと思う。 (同意見3件)</p>	<p>学級の子どもの人数は、国が定めた法律に基づいて決めていることから、その改善については引き続き国に要望していきます。</p>

**施策 3-4 豊かな生活につながる学びの環境の充実**

<p>図書館の本を増やしてほしい。 (同意見7件)</p>	<p>札幌市の図書館では限られた予算のなかで本を購入しておりますが、寄贈本を活用するなどして要望に応えられるよう工夫していきます。</p>
<p>色々な国の言葉を学ぶことができる本がほしい。</p>	<p>まずは、学校図書館にある本を探していただき、見つからない場合は、先生や図書ボランティアの皆さんに相談してみてください。また、札幌には、図書のある施設や、電子図書館等もありますので、いつもと違う図書資料に出会い、視野を広げる機会として、ぜひ、利用してみたいかがでしょうか。</p>
<p>図書館で電子書籍を読めるようにしてほしい。</p>	<p>中央図書館1階では、電子書籍を読むためのタブレットが用意されております。また、中央図書館2階では、ご自身で持参したパソコン等でも Wi-Fi</p>

	を利用して電子書籍を読むことができますので、ぜひ利用してください。
--	-----------------------------------

その他(計画全般に関わることなど)

皆さんの意見	札幌市教育委員会の考え方
学校の進め方や方向性を見直したほうがいい。	札幌市教育振興基本計画は、札幌市の教育を推進するための計画であり、学校教育の推進の方針にもなっています。この計画を基に、各学校では、それぞれの特色を生かしながら、教育活動を行っています。「学校の進め方や方向性を見直したほうがいい。」というのは、どのような理由からなのでしょう。児童生徒の皆さんが、学校づくりに参画していくことはとても大切なことです。ぜひ学校の先生や仲間にも、このような思いや願いを伝えてほしいと思います。教育委員会に相談いただいても構いません。
欠席して授業を受けることができなかつたときや見直したりできるように授業を録画してほしい。 (同意見1件)	授業を録画することは、学習を振り返ったり、授業に参加できなかった人の学びを支えたりするための手だての一つになるなりうると考えられます。その一方で、録画された授業を見るだけでは、なかなか学習の効果を上げることが難しいという側面もあります。また、著作権や肖像権の関係から、インターネット上で見れるようにするためには、一定の制約もあります。授業を録画すること以外にも、学習を充実させるための方法はないか、考えてみてください。
3週間に1回程度お楽しみ会的なイベントがほしい。	様々な人と楽しみながら交流をしていくようなイベントは学校から与えられるだけではなく、自分たちで創り出していくこともできます。自治的な活動として、委員会活動等を通して仲間と一緒に考え、具体的な理由も添えて、学校に提案してみたいかがでしょうか。皆さんの自治的な活動に期待しています。
夏休みや冬休みをゆっくり過ごすため、長期休暇の宿題をなくしてほしい。 (類似意見1件)	長期休業期間は、それまでの学びを振り返ったり、普段できないことにじっくり取り組んだり、次の学びに向けて力を蓄えたりすることが可能です。充実した期間とするためには、宿題があった方がい

	いのか、ない方がいいのかについては、今後も皆さんとともに考えていきたいと思ひます。
中学生と一緒に勉強する機会がほしい。 (同意見2件、類似意見1件)	札幌市では、小学校と中学校のつながりを意識した教育活動を大切にしています。いろいろな学年の児童と生徒が交流しながら学習を進めることは、お互いに理解が深まり、よりよい人間関係を築く上で大切な機会となります。学校の先生にも相談してみるとよいと思ひます。
幼稚園や保育園の人と一緒に活動したい。	札幌市では、幼稚園・保育園と小学校とのつながりを意識した教育活動を大切にしています。小学校でも、園児が学習発表会を見学したり、1日体験授業を受けたりすることはあると思ひます。幼いお子さんでも、安心して小学生と一緒に活動できる内容について考え、学校の先生にも相談してみるとよいと思ひます。
夏、冬休みをもっと増やしてほしい。 (同意見6件／類似意見3件)	札幌市では、皆さんの健康・安全と、学びの充実を図ることを考えて、夏・冬休みを合わせて50日間と決めています。今後、この長期休業の在り方については、児童生徒の皆さんの声も取り入れたいと考えており、その機会や場を設けていく予定です。その際には、増やしてほしい理由等について、具体的に教えていただきたいと思ひます。
中休みの時間を増やしてほしい。 (同意見1件／類似意見4件)	各学校では、年間で決められている授業時数や、放課後の活動時間、下校時間等についても配慮しながら日課を決めています。なぜ増やしてほしいのか、具体的な理由も含めた皆さんの意見を、学校に伝えることは大切なことだと思ひます。
1週間に1回か2回くらい、外で遊ぶ取組をした方がいい。	健康な体づくりのため、屋外での活動は大切です。様々な考えの人や学校の状況を踏まえ、多くの人が参加できるような取組について、各学校で考えていますが、皆さん自身も考えたことを先生に伝えてみてください。また、自治的な活動と関連付けながら取り組んでいくことも考えられます。
学級で、悩みなどを相談できる係を作りたい。	学級内で支え励まし合う温かい人間関係をつくっていくことが大切だと考えています。そのような学校づくりを目指し、全ての子どもたちの声を集約してつくられたのが、さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」です。今後もこの宣言に基づく自治的な活動を応援していきますので、ぜひ、学校に提案してみ

	<p>てください。また、友達から相談を受けたときに、一人で抱えてしまい、自分自身の悩みが変わることもあるので、大人と一緒に考えることも大切です。</p>
<p>教科ごとの持ち物が多かったり重かったりすることがとても負担なので、学校に置いてもいいものの幅を広げてほしい。 (同意見2件)</p>	<p>学びを充実させるためには、学校でも家庭でも、手元に学習用具があることが重要と考えていますが、持ち運びが過重な負担とならないよう配慮することも大切と考え、学校とともに様々な取組を進めてきたところです。</p> <p>この問題を解決するためには、児童生徒の皆さんが、必要な持ち物は何か、何を持ち帰り、何を置いていくのかなどについて、自ら考えることも欠かせません。今一度、不要な持ち運びをしていないか振り返ってほしいと思います。</p>
<p>自転車通学を許可してほしい。 (同意見9件)</p>	<p>札幌市の中学校の通学距離は3km を標準として区域が設けられており、徒歩通学を基本としています。安全面を考えたときに、自転車は車道通行が基本であること、暗くなってからの利用など課題が多くありますので、今の段階では自転車通学を許可することはできません。</p>
<p>スクールバスで通学したい。 (同意見5件)</p>	<p>札幌市の小中学校への通学については、徒歩による通学を基本とし、徒歩通学の目安は、小学校校区はおおむね2km以内、中学校はおおむね3km以内としています。</p> <p>通学距離が上記を超える場合は、公共交通機関を活用した通学を原則とし、公共交通機関による通学が困難と教育委員会が認める地域においては、スクールバス等その他の手段を検討することとしています。</p>
<p>学校へのスマートフォンの持ち込み、使用を許可してほしい。 (同意見5件)</p>	<p>スマートフォンなどは、学校生活の中で直接必要のないものであるため、学校では、児童生徒が校内に持ち込むことを原則禁止としています。ただ、個人的な事情に応じて持込みが認められる場合もありますので、学校に相談してみるとよいと思います。皆さんが、SNS等のネットトラブルに巻き込まれることも多いので、インターネットの安全な使い方やマナーを守ることについて、互いに声を掛け合って正しく利用してほしいと思います。</p>

<p>学級内の清掃は生徒ではなく清掃員にやってほしい。</p>	<p>清掃などの当番活動や係活動等では、自分の役割を自覚して協働することの意義を理解するなど、社会参画の意識や働くことの意義について学ぶ時間でもあります。また、子どもが清掃ができないよう場所は用務員さんなどの大人が清掃・整備してくれています。よりよい環境づくりや様々な活動の意義を考えながら、どのような活動が重要なのか、自治的な活動と関連付けながら、仲間と一緒に話し合ってみてはいかがでしょうか。</p>
<p>校則を減らしてほしい。 (同意見43件／類似意見6件)</p>	<p>学校では、地域や児童生徒の実態に合わせて、生活のきまりを定めています。その内容について疑問に思うことがあれば、きまりが定められている理由を考えてみてください。その上で、きまりを変える必要があると思った時には、友達にも意見を聞くなどして、新たなきまりを提案し、改善することもできると思います。そのような取組の方法については、先生方に相談してみてください。自分たちの手でよりよい環境を作っていく気持ちをこれからも大切にしてください。</p>
<p>一斉テストをなくしてほしい。 (同意見4件)</p>	<p>学びを充実させるためには、自らの学びを振り返り、改善したり調整したりすることは欠かせないと考えています。その手だてとして、一斉テストを行うことは、ある程度有効だと考えられますが、必ずしも最適な方法でないかもしれません。それをなくしてほしいと考えるのであれば、併せて、それに代わる方法を提案するなど、なくしてどうするかも考えることが大切です。</p>
<p>人の集中できる時間に合わせた授業時間として15分で休憩を取る進め方をしてほしい。</p>	<p>人の集中できる時間については、その物事に、いかに主体的に取り組むかで変わって来るとも言われています。現在、札幌市では、子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学びの実現を目指し、様々な工夫しているところですが、授業時間については、小学校は45分、中学校は50分を標準とすると定められています。その時間集中して取り組めるよう、皆さんにも、これまで以上に、主体的に学習に取り組んでほしいと思います。</p>

<p>5時間授業にして、授業に集中しやすくしてほしい。 (同意見4件／類似意見3件)</p>	<p>中学校では、年間で 980 時間程度の授業を行う必要があり、学校行事等を行うことを考えると、毎週 28 時間程度の授業を行うこととなります。授業に集中できることは大切と考えますので、6 時間授業でも集中できるようにするためにはどうすればいいか、もう少し考えてみてください。</p>
<p>モチベーションを上げるために、水曜日を休みにしてほしい。 (同意見2件)</p>	<p>中学校では、年間で 980 時間程度の授業を行う必要があり、学校行事等を行うことを考えると、毎週 28 時間程度の授業を行うこととなります。水曜日を休みにすると、モチベーションが上がる面もあるかも知れませんが、他の日に7時間授業を行う必要が生じてしまうため、あまりよい方法ではないと思います。他にモチベーションを上げる方法はないか、もう少し考えてみてください。</p>
<p>居残りして勉強できる自習室を作してほしい。 (同意見 10 件／類似意見3件) 放課後の学校の時間をフリーにして、好きなことや仲間と取り組む時間があるといい。</p>	<p>放課後に学習・活動できる場所や時間を作してほしいとのことですが、先生方は、部活動や委員会活動などの指導を行ったり、授業や学校行事などの準備を行ったりするなど、様々な業務があり、放課後活動の安全管理等を含め、学校の力だけでは、実現は簡単ではないと思います。そこで、現在、学校と地域が力を合わせて、多様な学びを実現する仕組みをつくろうと考えています。もしかしたら、その仕組みをうまく活用すれば、実現できる方法があるかもしれませんので、いただいた意見を参考にしたいと思います。また、自分からもその思いを学校に届けてみてください。</p>
<p>給食の時間を長くしてほしい。 (同意見5件) 昼寝時間を確保してほしい。 (同意見1件)</p>	<p>各学校では、皆さんの健康とともに、年間で決められている授業時数や放課後の活動時間、下校時間等についても配慮しながら日課を決めています。おそらく昼休みの時間には、昼寝も可能だと考えますが、更に必要な具体的な理由について、直接学校にも伝えることも検討してみてください。</p>
<p>ランク制度を廃止してほしい。 (同意見1件)</p>	<p>公立の高等学校の入学選抜の制度は、北海道教育委員会で決められているものですので、札幌市だけで廃止を検討できるものではありませんが、そのような制度になっていることには理由があると考えられます。</p>

	<p>その後の人生を左右することになるかもしれない入学者選抜において、当日の学力検査の結果だけで全てを決めてしまった方がいいのか、中学校3年間の成果を加味した方がいいのかについては、意見が分かれるところだと思しますので、もう少し考えてみてください。</p>
<p>修学旅行に持っていけるお金を増やしてほしい。</p>	<p>修学旅行に持っていくお金の金額は、各学校で決めています。その金額設定については、多ければよいということではないと思います。例えば、自由に買い物ができる時間や場所がどれくらいあるかなどによって、適切な金額があると思しますので、皆さんも一緒に考えてみてください。</p>
<p>小学6年生は得意分野に特化した授業を受けられる制度にしてほしい。</p>	<p>一人一人の違いに応じた教育を進めていくことは大変重要だと思いますが、得意不得意にかかわらず、様々な学習に取り組むことによさもあると思います。日本の教育では、小中学校は、全ての教科を必修とし、高等学校以降で、自分の興味・関心や特性に応じた学びを可能とする制度となっていますが、どうしてそのような制度になっているかについて、もう少し考えてみてください。</p>
<p>大会前は練習が足りないので、部活動の日数や時間を増やしてほしい。 (同意見2件／類似意見2件)</p>	<p>部活動については、過度な活動により生徒の成長期における安全面、健康面等で負担となることがないように、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・週に1日は平日に休養日を設定する</li> <li>・週末は土曜日か日曜日のどちらかを休養日とする</li> <li>・平日の活動時間は長くても2時間程度</li> <li>・土日祝日等の活動時間は長くても3時間程度</li> </ul> <p>などの活動基準に沿って活動することとしています。今後も、これらの活動基準に則りながら、各学校において、設置している部活動の意義や目的に沿った形で、活動内容、練習時間を設定していきます。</p>
<p>より多くの生徒が希望する活動ができるように、部活動の種類を増やしてほしい。 (同意見6件)</p>	<p>部活動の意義は、スポーツや文化・芸術活動に親しみながら、様々な学年の生徒との交流の中で、生徒同士や、先生と生徒との間で良好な人間関係の構築を図ったりすることにあります。</p> <p>友達と気軽にレクリエーション的な活動を楽しめる、適度な頻度で行える、様々な競技・種目を体験</p>

	<p>できるなど、生徒の多様なニーズに応じた活動ができる場の整備に向けた取組を進めていきます。</p>
<p>学習以外に気を取られることがないように、もっと除雪に力を入れてほしい。</p>	<p>冬季間においても安全かつ快適に学ぶことができる環境の確保は重要だと考えており、玄関や避難経路等、学校使用にあたり必要な除雪を行っています。今後も学校施設の環境整備について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>
<p>つららや雪庇が危ないところをなくしてほしい。</p>	<p>安全・安心な教育環境の整備は重要だと考えており、つららや雪庇については、随時点検・除去作業を行っているほか、必要性に応じて未然に防止するための設備の整備を実施していきます。</p>
<p>体育館を広くしてほしい。 (同意見2件)</p>	<p>学校の体育館については、国の補助金制度の上限面積を目安に整備を進めていますが、今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>
<p>グラウンドを人工芝にしてほしい。</p>	<p>人工芝への変更は費用や維持管理の観点から困難ですが、学校の建替えを行う場合は、皆さんが、安全かつ快適に学ぶことのできる環境とグラウンドを新しく整備していきます。</p>
<p>黒板をホワイトボードにしてほしい。 (同意見19件)</p>	<p>ホワイトボードについては、照明の反射や更新寿命が短いなどの理由から設置していませんが、よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、今後、電子黒板や学習用端末など教育環境の変化に応じて必要な整備を進めていきます。</p>
<p>水飲み場の蛇口から自動で水が出るようにしてほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、学校の建替えを行う場合は、手動水栓と自動水栓を交互に設置する方法で整備を進めていきます。</p>
<p>嫌なことがあったときに一人になれる居場所がほしい。</p>	<p>困ったことや悩んでいることがあるときには、身近な人に相談することが大切です。一人で抱え込まずに、スクールカウンセラーも含め校内で話しやすい先生に、声をかけてほしいと思います。気持ちを落ち着けたいから、考えを整理したいからなどの一人になりたい理由を伝えた上で、先生やスクールカウンセラーなどに相談するとよいと思います。</p>
<p>掃除用具を増やしてほしい。 (同意見1件)</p>	<p>学校では、毎年4月にその1年間に必要なものを買ったり、校舎などを直したりするための予算(お金)をもらって、どのように使うか計画を立ててい</p>

	<p>ます。予算の金額は、学校の規模などにより異なりますが、それぞれの学校で、予算の範囲内で収まるよう工夫しながらやり繰りして使っています。皆さんがよりよい学校生活を送る上で、掃除用具が今よりもたくさんあった方がよいと思った理由や数などについて、学級や先生に提案してみるとよいと思います。</p>
<p>大会に向けての取組や、より実力をつけるために、部活動に必要な費用を援助してほしい。 (類似意見1件)</p>	<p>札幌市では、部活動に必要な備品等を購入するための予算(お金)を、学校の規模や部活動の数に応じて各学校へ配分しています。予算の金額は学校によって異なりますが、それぞれの学校で、予算の範囲内で収まるよう工夫しながらやり繰りして使っていますので、部活動を充実させるために必要と思った備品の内容や理由などについて、顧問の先生などに提案してみるとよいと思います。</p> <p>そのほか、部活動の充実に向けては、指導内容をより効果的にするため、部活動指導員などの専門的な外部人材を活用する取組を行っています。今後も学校や生徒のニーズに応じてより多くの学校に部活動指導員などの専門的な指導者を配置できるよう、外部人材の更なる活用に向けた取組を進めていきます。</p>
<p>教科書やノート、端末を置くには机が狭く使いにくいので、大きくしてほしい。 (同意見13件)</p> <p>椅子の座面が硬いので座り続けていると体が痛くなるため、学校の椅子をクッション性のあるものにしてほしい。 (同意見13件)</p> <p>学校の置き勉強ボックスには、限られた量しか入れることができないため、鍵付きのロッカーを設置してほしい。 (同意見 10件)</p> <p>施設整備に関する類似意見15件</p>	<p>よりよい教育環境を整備することは重要だと考えており、学校の建替えのほか、老朽化の状況に応じて、必要な整備を進めていきます。今後も、学校施設の整備内容について、様々なご意見に耳を傾けながら検討していきます。</p>

<p>先生の残業代を一般的な水準にするなど、子どもに関わる大人のケアが必要だと思う。</p>	<p>学校の先生は、修学旅行等の学校外での活動や、家庭訪問等の個人での活動、夏休み等の長期休業期間などがあり、これらの働き方の特殊性から、一般的な勤務時間の管理になじまないため、時間外勤務手当(残業代)の代わりに給料月額4%に相当する額を手当として支給しています。</p> <p>ただ、先生が昔と比べて忙しくなっていることから、現在国においてこの手当の見直しについて検討しています。その見直し結果に応じて、必要な対応を行っていきます。</p>
<p>教員の労働条件を改善してほしい。</p>	<p>学校の先生などの公務員の給与は、民間企業との均衡を保つため、人事委員会が民間企業の給与を調査して行う勧告に基づいて決める仕組みとなっていますので、今後も勧告を尊重した改定を行っていきます。</p> <p>また、先生の長時間勤務の解消に向けて、これまでも働き方改革につながる様々な取組を進めてきていますが、ICTを活用した業務負担の軽減等、引き続き先生方が働きやすい職場環境の整備に努めていきます。</p>
<p>教員数増加、学級人数の減少、地域の人の授業補佐など、教員の負担軽減の取組をしてほしい。</p>	<p>先生の人数や学級人数は、国が定めた法律に基づいて決められていますので、その改善については引き続き国に要望していきます。また、先生の業務をサポートするスタッフを有効に活用するなど、教員の負担軽減につながる取組を進めていきます。</p>
<p>先生のメンタルケアや自己肯定感を高める取組をしてほしい。</p>	<p>先生のメンタルケアとして、毎年、自分のストレスの程度を把握し、メンタルヘルス不調の防止を目的に、ストレスチェックを全員に実施しています。</p> <p>また、悩みを相談できる教職員相談室を設置し、先生からの相談を受けています。今後も、先生方に相談室の積極的な案内をするなど、取組を充実していきます。</p>
<p>誰でも塾に通うことができるように、費用を支援してほしい。</p>	<p>塾に通う費用を市が負担することは難しいですが、札幌市では、「ドリルパーク」という学習アプリを導入しており、様々な問題に取り組んだり、詳しい解説をみながら学習を深めたりすることが可能となっています。札幌市立小中学校等に通う児童生徒の皆さんは、この学習アプリを家庭での学習</p>

	でも活用することが可能となっていますので、積極的に活用してください。
筆記用具を配布してほしい。	学校で使える予算(お金)は、皆さんが共同で使う設備を直したり、学校で保管してみんなで使うためのいろいろなものを買ったりすることに使います。このため、個人に配布する目的で筆記用具などを買うことはできません。みんなで使うための教室のものなどは予算の範囲内で買うことができます。

## 資料の配布・公開について

第2期札幌市教育振興基本計画の詳しい内容が書かれた冊子を、市役所、区役所などで配布しているほか、札幌市公式ホームページでも公開しています。

## 大人の皆様へ

令和5年12月から令和6年1月まで、第2期札幌市教育振興基本計画(案)に対する意見を募集しました。この資料は、小・中学生から寄せられた意見の概要と、それに対する札幌市教育委員会の考え方について報告するものです。

ぜひ、お子様と一緒に読みください。

---

<問い合わせ先>

札幌市教育委員会生涯学習部総務課

〒060-0002 札幌市中央区北2条西2丁目 STV 北2条ビル5階

TEL:011-211-3825

Eメール:[kyoiku-seisaku@city.sapporo.jp](mailto:kyoiku-seisaku@city.sapporo.jp)

